運営方針会議議事要録

１　日　付　２０２５年１１月２８日（金）
２　場　所　Ｗｅｂ会議
３　出席者　冨永総長
　　青木　尾崎　帯野　境田　東　宮田　Price　Favre　各委員
　　(陪席)
　　植木理事　山口副学長　伊豆副学長　福田監事　田口監事
　　(事務局)
　　阿部事務機構長　木村主任経営企画スタッフ　古川総務課長
４　欠席者　なし

５　議　事
○　前回運営方針会議（２０２５年9月３０日）議事要録（案）の確認
東議長から資料に基づき、上記議事要録（案）の可否について諮り、これを承認した。

○　議　事
（1）外国人留学生への質の高い教育環境の提供と拡充
冨永総長から本議題については副学長（教育改革・国際戦略担当）から説明することとしたい旨の発言があり、この申出を認め、山口副学長から資料に基づき、外国人留学生への質の高い教育環境の提供と拡充について説明があった。なお、運営方針委員からあった意見の概要は次のとおり。
・学生募集を巡る近年の厳しい国際環境を踏まえ、目標達成のための施策を慎重に検討するとともに、博士課程学生については家族を含めて日本社会に溶け込むための支援を推進することが重要である。
・留学生の受入においては、国・地域に応じた戦略的な授業料や博士課程教育の価値が伝わるような授業料を設定することが重要である。また、国内外の学生を区別しない統合的な学修環境の実現を目指し、家族を含む生活支援や奨学金を充実させ、アフリカ諸国を含む新たな展開が期待される地域へのアプローチを強化し、包括的な国際化を進めることもまた重要である。
・学部レベルの留学生受入について、留学生本人にとっての教育的価値や将来のキャリアパスを含む具体的なメリットを明確にすべきである。
・円安が進行する中における今回の授業料改定による影響について、国際的な位置づけを整理すべきである。
・学部の留学生比率を引き上げていくにあたり、日本人学生への影響も含めて課題を整

理し、国の動向を踏まえた柔軟な制度設計を行うことが重要である。

・外国人との共生が政策課題となっていることを踏まえ、留学生や外国人研究者の受入にあたっては、自治体と連携し、帯同する家族の教育環境を含む支援体制の充実を図るべきである。

（2）国際卓越研究大学：体制強化計画の進捗状況

冨永総長から資料に基づき、国際卓越研究大学研究等体制強化計画の進捗状況について説明があった。次いで、冨永総長から本議題のうち法人戦略予算の収支シミュレーションについては副学長（経営基盤強化・財務管理担当）から説明することとしたい旨の発言があり、この申出を認め、伊豆副学長から資料に基づき説明があった。なお、運営方針委員から政府による予算決定が国際卓越研究大学の体制強化計画の進捗に影響する懸念があることから、想定通りに進まなかった場合のリスクについて確認しておくべきとの意見があった。

以 上